

市民と野党の共闘で安倍政権退陣!



2018年5月13日
-38号
発行
日本共産党県議会議員
渡辺 ゆり子
<連絡先>
日本共産党県議団執務室
電話 023-630-3241(受付)
自宅: 山形市青田2-10-5
電話 023-642-2365

4月24・25日と県議会は閉会
中委員会が開催されました。

厚労省の健康調査結果

(24日厚生環境常任委員会)
県は今年度、アルコール健康障害対策の計画を策定する予定です。私は、3月に公表された平成28年県民健康・栄養調査結果のアンケート調査から飲酒の状況についてとりあげ質問しました。貝沼浩則健康づくり推進課長は、「飲酒習慣者(清酒換算1日1合で、週3日以上飲酒)の割合は、男性19・6%、女性2・8%で前回調査より大幅に減少している。」「生活習慣病のリスクを高める量の飲酒(1日あたりの純アルコール量、男性は40g清酒で2合以上、女性20g以上)の割合は、男性18・2%(全国は14・6%)女性8%(全国は9・1%)となつてい」と答弁しました。私は、「リスクが高い男性飲酒者の割合が山形県は高くなっている。アルコール依存や自殺の要因となつたり、医療費の増大に関係してくる問題だ。今後の計画や施策には調査結果を踏まえ、その



5月3日憲法記念日街頭演説で訴える渡辺ゆり子県議

を反映したものにしてほしい」と発言しました。

県民の自殺対策計画

県の自殺対策計画が策定され、今年度から開始しています。地域的な特徴については、自殺総合対策センターの分析にある「地域自殺実態プロファイル」が自治体に示されています。私は、山形県の自殺の特徴について質問しました。遠藤健悟地域福祉推進課長は「特徴の一つは、自殺者数では60才以上の高齢者の無職同居が多いこと。二点目に自殺死亡率では有職者に比べ無職者(生活困窮者)の比率が高いこと。三点目に、有職者のうちでは、全国に比べ自営業・家族従業者の自殺割合が高いこと。」と答えました。私は、「同居家族がいても困難をかかえたり孤立化している高齢者が多いと思われる。計画は、これらの特徴を踏まえた対策を重点的に取り組むとしているが、市町村や関係機関と連携して、自殺者低減に向け力を尽くしてほしい」と発言しました。

ゆり子の視点

アルコール依存症について

昨年の予算委員会
でアルコール健康障
害対策を求める質問
をしました。その
後県民から「どこに
相談したらいいのか」
との問い合わせが寄
せられました。
また、先月はTO
KIOグループメン
バーの強制わいせつ
事件が大きく取り上
げられましたが「背
景にアルコール依存
があるのでは?」と
の報道もあります。
山形県は酒どころ、
悪影響を及ぼす社会
者あいさつ、連帯のあいさつ、
リレートークも「8時間働けば
暮らせる社会の実現」「貧困と
格差の是正」「安倍9条改憲ノー、
憲法が生きる社会を」などの言
葉が並びます。強いように見え
る安倍政権ですが、矛盾が見え
る化し、追いつめられています。

県中央メーデー参加 憲法改悪にノー、働かせ方改悪阻止

5月1日、霞城公園で開催さ
れた県中央メーデーの集会和デ
モ行進に参加しました。
メインスローガンの最初に
「安倍九条改憲反対、戦争法廃
止! 市民と野党の共闘で安倍政
権退陣を、公文書の隠蔽、改ざ
ん・ねつ造許さない! あたりま
えの政治を国民の手に取り戻そ
う」とあげられています。主催

その他、厚生環境常任委
員会では、4月に設置され
た中国帰国者相談支援セン
ターについて、「中国帰国
者の会の方々に十分な説明
がなされていない。今後の
センター運営にあたっても
当事者の声をよく聞くべき
だ」と発言しました。
産業振興対策、働き方改
革特別委員会では、学校給
食での県産農林水産物の使
用拡大とともに幼児・高齢
者などの社会福祉施設での
利用拡大について提起しま
した。



集会後デモ行進する参加者